

計画事業番号	00317	事務事業名	学校支援地域本部事業	担当部署	教育部社会教育課	電話	4842
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	社会教育法			
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章)	人と文化を育むまち
	(第 2 節)	信頼され、魅力ある学校づくりの推進
	(施策 2)	教育環境の整備
2 対 象	各小中学校、市民(学校支援)ボランティア	
3 目的と内容	<p><目的> 学校を地域全体で支える体制を整えていくために設置した学校支援地域本部により、地域住民等による学校支援を推進する。</p> <p><概要> 地域住民や学校支援ボランティアなどによる学校支援をより効果的に行うための体制を充実するため、学校支援ボランティアや授業補助員などと学校との調整を図る「学校支援コーディネーター」を2名配置し、効果的に学校を支援する。</p>	
4 実施内容 (手 段)	2017年度まで	授業補助員の配置など、学校支援を行った。
	2018年度	昨年度と同様に授業補助員の配置など、学校支援を行う。

【事業の計画・実績】

2017年度		2018年度	2019年度	2020年度
計画	実績	計画	計画	計画
学校支援地域本部の設置 学校支援コーディネーターの配置 学校支援ボランティア運営経費助成 授業補助員の配置 200時間×16校	学校支援の実施 ・学校支援地域本部の設置 ・学校支援コーディネーターの配置 ・学校支援ボランティア運営経費助成 ・授業補助員の配置(224人、3,151時間)	学校支援地域本部の設置 学校支援コーディネーターの配置 学校支援ボランティア運営経費助成 授業補助員の配置 200時間×16校	学校支援地域本部の設置 学校支援コーディネーターの配置 学校支援ボランティア運営経費助成 授業補助員の配置 200時間×16校	学校支援地域本部の設置 学校支援コーディネーターの配置 学校支援ボランティア運営経費助成 授業補助員の配置 200時間×16校

【評価結果・評価コメント】

総合判定		2019年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	教育基本法では、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」が規定されている。学校支援地域本部は、これを具体化する方策の柱であり、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整え、学校教育の充実、生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上をそのねらいとしていることから、現状継続とするほか、新たに地域学校協働本部の考え方が示されていることから、今後取り組みについて検討を行う。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		8,297	8,440	8,869	8,869		
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0	
		道支出金	4,010	5,176	5,912	5,912	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		一般財源	4,287	3,264	2,957	2,957	
	① 合計	8,297	8,440	8,869	8,869		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
	④ =②×③	5,880	0	5,880	0	5,880	0
総事業費①+④		14,177	14,320	14,749	14,749		

【評価指標】

指標名		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
活動指標	①ボランティア登録数	目標値	100	100	100	100
		実績値	93			
	②コーディネート事業数	目標値	150	150	150	150
		実績値	150			
③	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
		【指標の定義(算式等)実績/目標】	実績値			
	②	目標値				
		【指標の定義(算式等)実績/目標】	実績値			
③	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	学校・家庭・地域が連携して学校を支援することは、社会要請に合致しており、行政が調整機能を果たすことは妥当であり、子どもたちの学力向上及び健全育成に貢献度は大きい。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	事業内容も浸透してきており、成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	学校支援する内容は多岐にわたることから、ボランティア登録が不足することや、地域での体制整備に向け、関係団体との連携が必要となる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	コストの削減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。